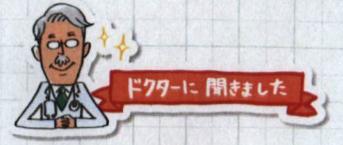


ゴホゴホッ…2週間以上長引く咳にご注意



病院を受診するきっかけとして最も多い症状の一つ、「咳」。風邪やインフルエンザばかりでなく、咳は身体の反射であり、思わぬ疾患のサインとして現れる場合も少なくありません。止まらない咳の原因や対処法について、大手町いまながクリニックの院長・今永知俊先生にお話しをうかがいました。

**Q 咳はいろいろな病気のサインとして現れます。どのような咳が危険なのでしょうか?**

**A** 咳は、子どもから大人まで誰でも経験がある身近な症状の一つです。風邪など理由が明確であればそれほど心配は要りませんが、注意したいのは原因不明のまま一定期間以上、咳が長引いている場合です。

すると長年の喫煙習慣が呼吸に影響してくることも、COPD(慢性閉塞性肺疾患)と呼ばれるいわば肺の生活習慣病で、肺が炎症を起こし息が吐き出しにくくなるのです。その他にも逆流性食道炎など、消化管の不調も原因に加わってきます。さらに、年齢に関わらず誰にでも感染のおそれがあるのが「結核(けつかく)」です。結核は咳やくしゃみから感染するため、発病が確認されると感染者の周囲の人たちも検査を強いられます。

よく知られる肺や気管支ばかりではなく、消化管、鼻、神経など様々です。緊張したとき思わず咳払いをしてしまうようになかには過度の精神的ストレスが原因というケースも見られます。咳が止まらないときは早めの受診が第一です。一時的な措置として部屋を加湿するのは悪いことではありませんが、まれに加湿器の蒸気が咳の原因になっている場合もあります。自己判断をせず、まずは原因をしつかり特定しましょう。

まず確認したいのが「咳以外の症状」と「期間」について。発熱など咳以外にどんな症状を併発しているか。また、咳が始めてからどのくらい経っているか。目安として、2週間以上、原因不明の咳が止まらないときは重い疾患の可能性も疑われます。咳は体の反射であり、ぜんそくや気管支結核、肺炎、咽頭アレルギー、肺がんなど、様々な疾患が「止まらない咳」となって現れます。

例えば、ぜんそくは子どもの病とうイメージがありますが、40代や50代で突然発症するのも珍しいことであります。また、中高年になるとではあります。また、中高年になるとではあります。また、中高年にな

**Q 咳の原因はどんな検査で見つけるのですか。**  
**自宅で寛解(くわんかく)させを緩和する方法はありますか?**

**A** まずは咳以外の症状、痰の有無、アレルギー疾患(ぜんそく)、喫煙習慣などを問診し、風邪以外の症状が疑われる場合は血液検査を実施します。咳を引き起こしている部位は一般的に

周囲の人たちも検査を強いられます。家族はもちろん、会社や学校関係など、発見が遅れるほど多くの人に迷惑をかける自体になってしまふのです。

息苦しさや喉の痛みをトローチや咳止めで一時的にやわらげることができます。咳は体の反射であり、ぜんそくやい原因を明確にすること、それが大切です。

## Q 咳でうつる感染症の予防法は?

**A** 咳を軽視してはいけない理由は大きく2つあります。一つは「重い疾患を見逃さない」ため。そしてもう一つは、その疾患を「他人に感染させない」ためです。風邪やインフルエンザ、結核を含めて、ウイルスや菌は飛沫(ひまつ)感染、つまり病原体を含んだ飛沫を咳やくしゃみで飛び散らすことでどんどん拡がります。

咳が出るときは必ずマスクを着用する、これを「咳エチケット」と呼びます。マスクが手元がないときは、ハンカチで口元を押さえます。間に合わないなら、自分の衣服の肩口で口元を押さえるだけでも違います。また、咳エチケットがない人の近くに寄らないことも感染から身を守るためにあります。

咳が止まらない場合は、ウイルスや菌の粘膜から感染しますが、多くの場合、直接的といふより衣服やモノに飛び散った飛沫に知らずに触れてしまって、自分の手を経由して口へ入ります。そのため最も有効な感染予防が手洗いです。外出先から帰ったときはもちろん、会社など多くの人がいる場所ではこまめに手を洗いましょう。

咳が止まらない場合は、ウイルスや菌の飛沫(ひまつ)感染、つまり病原体を含んだ飛沫を咳やくしゃみで飛び散らすことでどんどん拡がります。

【入場無料】

## 健康セミナーのお知らせ

呼吸器に不安のある方が  
冬に気を付けておきたいこと

日時 平成28年 11月2日(水)  
12:30開場 12:45開演(予定)

場所 ハローパーク大手町1F (MOON)  
北九州市小倉北区大手町13-34  
大手町店内

定員 60名 定員になり次第  
愛付終了とさせていただきます。

●お問い合わせは  
サンキュードラッグ  
ハローパーク大手町薬局 tel.093-562-5939まで

ドリンク  
デザート付

大手町いまながクリニック 今永 知俊 院長

平成2年 産業医科大学を卒業後、産業医科大学病院、中国労災病院、神戸労災病院、中部労災病院などに勤務ののち、平成13年より新日鉄八幡記念病院呼吸器科(現製鉄記念八幡病院)に勤務、平成20年より同院呼吸器内科部長、平成28年4月に退職。平成28年6月に大手町いまながクリニックを開院。

ハローパーク大手町2F/  
内科・呼吸器内科  
大手町いまながクリニック  
北九州市小倉北区大手町13-34ハローパーク大手町2F  
tel.093-562-2580

